

令和4年度新居浜市一般会計6月補正予算(追加)について



Hello!
NEW

令和4年6月
新居浜市

令和4年度6月追加補正予算(第2号)の概要

新型コロナウイルス感染症対策並びに 国庫補助内示追加関連補正予算

令和4年6月16日追加
新居浜市

1 予算規模

今回の補正予算は、新型コロナウイルス感染症対策等に関する国の地方創生臨時交付金を活用した事業や、国庫補助内示が追加された事業等を補正するもので、プレミアム付地域商品券発行事業費、子育て世帯生活支援特別給付金事業費のほか、個人番号カード取得利用促進事業費などについて、予算措置を行っています。

この結果、補正額13^億2,080^万8^{千円}の追加、補正後の予算総額は、535^億250^万5^{千円}となり、対前年度同期比は、9^億5,812^万2^{千円}、1.8%の増となっています。

		一般会計
補正前		521 ^億 8,169 ^万 7 ^{千円}
今回補正額		13 ^億 2,080 ^万 8 ^{千円}
補正後		535 ^億 250 ^万 5 ^{千円}
令和3年度		525 ^億 4,438 ^万 3 ^{千円}
対前年度 増減	額	9 ^億 5,812 ^万 2 ^{千円}
	率	1.8%

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 他国庫補助内示等5分野で構成

※赤字は概要説明事業

I 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業

合計7億3,199万6千円 (国費100%)

① コロナ禍における原油価格・物価高騰対策 (3億8,648万3千円)

■ 保育所等給食支援事業費	1,046万7千円
■ 学校給食支援事業費	1,558万2千円
■ エネルギー最適化支援事業費	200万 円
■ 観光施設支援事業費	641万9千円
■ ふるさとにいほま便学生支援事業費	747万3千円
■ プレミアム付地域商品券発行事業費	3億3,244万2千円
■ 地域交通事業者支援事業費	1,210万 円

② 新型コロナの感染拡大防止 (1億6,819万 円)

■ 情報化環境整備事業費	3,413万1千円
■ 簡易抗原検査キット配布事業費	995万5千円
■ 救急体制強化事業費	874万4千円
■ 小中学校感染症対策トイレ改修事業費	1億1,536万 円

③ 「ウイズコロナ」下での社会経済活動の再開 (1億7,732万3千円)

■ ワクワク新居浜利用促進事業費	220万 円
■ 総合文化施設利用促進事業費	3,575万 円
■ 観光拠点施設利用促進事業費	2,510万3千円
■ 滝の宮公園利用促進事業費	972万2千円
■ 観光イベント誘致事業費	500万 円
■ にっぽん丸クルーズ促進事業費	665万6千円
■ 個人番号カード取得利用促進事業費	9,289万2千円
(1億9,789万2千円のうち、コロナ交付金事業分) ・県費24,000千円含む。	

Ⅱ 生活困窮者生活支援事業 計2億5,498万6千円 (国費100%)

■ 住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金支給事業費	1億 440万 円
■ 新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金給付事業費	1,420万6千円
■ 子育て世帯生活支援特別給付金事業費	1億3,638万 円

Ⅲ マイナンバーカード関連事業 計1億2,710万5千円 (国費100%)

■ 個人番号カード利用環境整備事業費	1,850万1千円
■ 個人番号カード取得利用促進事業費 (1億9,789万2千円のうち、国庫補助事業分)	1億 500万 円
■ 個人番号カード交付事業費	360万4千円

Ⅳ デジタル田園都市国家構想推進交付金事業 計1億8,869万8千円 (国費90%)

■ 移動デジタル行政サービス推進事業費	1,900万 円
■ 移動デジタル福祉サービス推進事業費	1,950万 円
■ 公共交通機関等デジタル化推進事業費	8,199万 8千円
■ スマート農業推進事業費	6,820万 円

Ⅴ その他追加内示事業 計1,802万3千円(国・県費100%)

■ サテライトオフィス活用推進事業費	300万 円
■ 別子銅山産業遺産体感ツアー造成事業費	1,502万3千円

3 補正予算の主な事業概要

I 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業

① コロナ禍における原油価格・物価高騰対策

保育所等給食支援事業費	(1,046万7千円)
学校給食支援事業費	(1,558万2千円)

物価高騰による給食材料費等の値上げに対し、これまで通りの給食の質を維持するため、学校給食会等へ補助を行い、子育て世帯を支援する。

- 対象：公立保育所700人分、私立保育所2,130人分、幼稚園等970人分
- 補助額：1食当たり12円（保育所等）
：1食当たり12円（小学校）1食当たり12円（中学校）
- 実施期間：令和4年7月から令和5年3月

ふるさとにいはま便学生支援事業費 (747万3千円)

コロナ禍において物価高騰等の影響を受けた本市出身の大学生等を支援するため、「ふるさとにいはま便」として、市の特産品を送付するとともに、学生同士が交流する場を創出し、将来のUターンにつなげる。

- 事業内容：本市出身で市外の大学等に進学している30歳未満の学生に、学生証の提示及び学生版にいはま倶楽部の登録を条件として市の特産品（3,000円相当）を先着1500人に送付する。



プレミアム付地域商品券発行事業費 (3億3,244万2千円)

プレミアム付商品券を発行し、コロナ禍で落ち込んだ消費への喚起と事業者支援を県・市町連携事業として実施する。

- 事業内容：1冊10,000円の商品券を5,000円で購入できる購入引換券を1世帯1枚送付する。（約58,000世帯）購入を希望する方は引換券を持参して購入。
- 商品券：利用可能な登録店を区分地元応援券（3,000円分）市内に本社・本店がある事業者など共通券（7,000円分）その他全店
- 利用期間：令和4年9月1日から令和4年12月末（予定）
- * 県費（えひめ消費活性化支援事業 159,000千円含む。）



地域交通事業者支援事業費

(1,210万 円)

コロナ禍において原油価格等高騰の影響を受けた本市公共交通の維持の一助とするため、タクシー事業者に対し補助を行う。

- 事業内容：市内に営業所を置くタクシー事業者が保有するタクシー（介護タクシー等除く）1台につき10万円を支給。
市内121台×10万円 = 1,210万円



②新型コロナウイルスの感染拡大防止

小中学校感染症対策トイレ改修事業費

(1億1,536万 円)

学校施設における新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐために、市内小中学校のトイレの洋式化をすすめる。

- 目標：小中学校トイレ洋式化率60%以上
- 改修後：トイレ洋式化率57.4%、
(小学校13校、中学校10校)



③「ウイズコロナ」下での社会経済活動の再開

総合文化施設利用促進事業費

(3,575万 円)

コロナ禍において、文化芸術等に触れる機会が減った市民の外出機会の拡大を通じて豊かな感性を育むため、あかがねミュージアムにおいて、シアターVRを上映する。

- 事業内容：「マチュピチュ__太陽の聖地」
の制作および上映。



「風神雷神図のウラ__夏秋草図に秘めた思い」
のレンタル上映。



観光拠点施設利用促進事業

(2,510万3千円)

アフターコロナを見据え、マイントピア別子内の登録有形文化財である泉寿亭の整備を行うことにより、観光拠点施設としての充実を図る。また子どもたちの外出機会の拡大のため、夏休み期間中マイントピア別子「あかがねキッズパーク」の利用料の助成を行う。

■事業内容：泉寿亭の改修工事、コロナ対策関連

22,603千円

：キッズパーク利用料@500円→@250円
補助金

2,500千円

*夏休み期間中10,000人利用を想定



滝の宮公園利用促進事業費

(972万2千円)

夏休みの子どもたちの外出機会の拡大と活動場所の確保のため、昨年度大型遊具の整備を行った滝の宮公園利用者のためのシャトルバスを運行する。

■事業内容：

運行期間：7月16日から8月31日

運行時間：9時から17時まで

運行ルート：あかがねミュージアム第二駐車場



滝の宮公園駐車場



にっぽん丸クルーズ促進事業費

(665万6千円)

外出機会を創出するとともに、発着による新居浜市のPRを通じて、新居浜港の利用を促進するため、「にっぽん丸」の新居浜発着のクルーズツアーを誘致し、実施するとともに、市民のクルーズツアーへの参加を支援し、市内経済の活性化を図る。

■事業内容：新居浜港発着 屋久島観光クルーズ
募集人員350人

■実施日時：令和4年10月10日～10月12日

■補助項目：市民がクルーズに参加した場合10,000円
参加者が市内に宿泊した場合宿泊料の半額



Ⅱ 生活困窮者生活支援事業

住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金支給事業費 (1億 440万 円)

事業概要 令和4年度に新たに住民税が非課税となった世帯や家計が急変した世帯に対し、1世帯につき10万円の臨時特別給付金について補正する。

対象者 令和4年度に新たに住民税が非課税となった世帯。(約2,100世帯)
*ただし令和3年度非課税世帯分及び家計急変世帯分既に支給した世帯は除く。

補正額 104,400千円 (* 令和4年度予算残額分除く。)

支給時期 対象世帯へ確認書送付(6月下旬) 7月上旬支給予定

新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金給付事業費 (1,420万6千円)

事業概要 新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金について、申請期限が3月末であったが、申請期限が8月末まで延長となったため、支援金及び給付に要する事務費について補正する。

対象者 延長による増加世帯見込み。
単身世帯×70世帯(6万円)、2人世帯×40世帯(8万円)
3人世帯×30世帯(10万円)

補正額 支援金10,400千円、事務費3,806千円

子育て世帯生活支援特別給付金事業費 (1億3,638万 円)

事業概要 低所得の子育て世帯に対し、児童一人当たり一律5万円の特別給付金及び事務費について補正する。

対象者 (ひとり親世帯)
①令和4年4月分の児童扶養手当受給者の方など。

(その他低所得の子育て世帯)
②令和4年4月分児童手当又は特別児童扶養手当の受給者で令和4年度分の住民税均等割が非課税の方など。

補正額
①世帯数見込み1,116世帯 児童数1,712人
②世帯数見込み 474世帯 児童数 923人
支援金131,750千円、事務費4,630千円

Ⅲ マイナンバーカード関連事業

個人番号カード利用環境整備事業費 (1,850万1千円)

マイナポイント事業費第2弾の本格的な開始に伴い、キャッシュレス決済サービス等の登録を支援する体制を整えるための業務を委託する。

- 事業内容：コールセンターの設置(R4.7.1~9.30)
旧水道局庁舎受付 (R4.7.1~7.15) 本庁での受付(R4.7.19~12.28)
公民館巡回 (R4.7.19~8.30)

個人番号カード取得利用促進事業費 (1億9,789万2千円)

個人番号カードの取得及び利用促進を図るため、総務省が実施するマイナポイント事業第2弾のうち、マイナンバーカードの健康保険証としての利用申込、公金受取口座の登録に対するポイント付与が6月30日から開始されるのに併せて、地域ポイントである「新居浜あかがねポイント」の更なる普及を図るため、プレミアムポイントの追加付与と、ポイント還元キャンペーン及び応援加盟店支援を実施する。

■ 対象：マイナポイント決済サービスにあかがねポイントを選択した方

■ 事業内容：国庫補助事業分 **105,000千円**

(保険証・公金受取口座分) $15,000円 \times 6,000人 = 90,000千円$
(新規取得分) $5,000円 \times 3,000人 = 15,000千円$

：コロナ交付金事業分 **92,892千円**

(県プレミアムポイント分) $4,000円 \times 6,000人 = 24,000千円$

(市プレミアムポイント分) $3,000円 \times 6,000人 = 18,000千円$

(ポイント還元キャンペーン 10%還元 R4.8~R5.3)

= 24,000千円

(ポイント付与に要する経費)

26,892千円

合計 197,892千円

個人番号カード交付事業費 (360万4千円)

県内のマイナンバーカードの普及促進を目指し、県が実施する出張申請受付窓口の開設にかかる負担金。

- 事業内容：令和4年7月~9月 (イオン新居浜特設会場を予定)

IV デジタル田園都市国家構想推進交付金事業

移動デジタル行政サービス推進事業費
移動デジタル福祉サービス推進事業費

(1,900万円)
(1,950万円)

様々な用途に活用できるマルチタスク車両を整備し、離島や山間部をはじめとする交通手段の確保が困難な地域での行政サービスや福祉サービスについて、デジタルを活用して実施する。

■ 行政サービス：車内での住民票、印鑑登録証明書、課税証明等の発行やマイナンバーカードの申請手続き、移動期日前投票所としての活用など。

■ 福祉サービス：出張保健指導、特定健診受診券の発行
オンラインによる各種相談、指導等やweb申込支援など。



公共交通機関等デジタル化推進事業費

(8,199万8千円)

今後移動を自家用車に頼れなくなる交通弱者の増加に備えるため、公共交通機関をより身近で利用しやすいものとするよう、交通サービスに関する情報発信を行うとともに、利便性の向上を図る。

■ 事業内容：現在デマンドタクシーを運行していない川西地区でのデジタルを活用したデマンドタクシーの試行運転を行うためのオンデマンドシステム・プラットフォームの構築、運行業務を委託する。

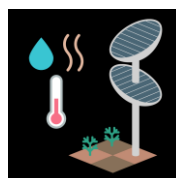


スマート農業推進事業費

(6,820万円)

大島七福芋生産量の増加とブランド化を進めるための課題について、デジタルを活用した解決策を構築する。有害鳥獣からの農作物への被害を未然に防ぐ取り組みを推進する。

■ 事業内容：種芋・種苗倉庫のデジタル化管理、大島島内の土壌センサーによる発育データの集積、分析。有害鳥獣侵入対策用電気柵リモート監視、動向確認のシステム構築。



V その他追加内示事業

別子銅山産業遺産体感ツアー造成事業費

(1,502万3千円)

本市の観光の拠点であり、文化遺産価値も高い旧端出場水力発電所とマイントピア別子を整備し、市民や観光客の受け入れ態勢を整備する。

- 事業内容：ARを活用して一体的に体感できる魅力あるコンテンツを造成し、旧端出場水力発電所のプレオープンに合わせ展示案内看板を多言語で表示したり、モニターツアーを実施するなど、市民やインバウンド観光客の受入体制を整備する。



4 一般会計補正予算の歳入（款別）と歳出（経費別）

(1) 歳入

款	補正前	今回補正額	補正後
国庫支出金	87億3,054万9千円	10億9,251万4千円	98億2,306万3千円
県支出金	38億7,280万6千円	1億8,600万円	40億5,880万6千円
繰入金	15億5,078万9千円	2,389万4千円	15億7,468万3千円
市債	50億470万円	1,840万円	50億2,310万円
歳入合計	521億8,169万7千円	13億2,080万8千円	535億250万5千円

(2) 歳出

経費区分	補正前	今回補正額	補正後
施策	109億1,762万2千円	12億9,570万5千円	122億1,332万7千円
公共	49億45万5千円	2,510万3千円	49億2,555万8千円
歳出合計	521億8,169万7千円	13億2,080万8千円	535億250万5千円